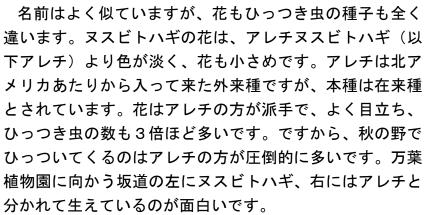
風土記の丘の花だより252

今、そしてこれから見られる植物(2024年9月14日)

もう9月も半ばだというのに、一向に涼しくなりません。お互い体調の維持に努めましょう。さて、前回は掲載する画像を間違うという失敗をしてしまいました。改めてお詫び申し上げます。それで、今回は誤って載せたそのヌスビトハギから紹介します。







小早川家の敷地の南東隅にノカンゾウが咲き始めました。 坂道からでも見ることができます。ワスレグサの仲間は、 これまでトウカンゾウ、ヤブカンゾウ、ユウスゲと咲いて きましたが、やっとノカンゾウの順番が回ってきました。 ヤブカンゾウに似ていますが、一重咲きですっきりした花 です。万葉植物園の百合などが咲く一角にももうすぐ咲く と思います。園芸植物がお好きな方ならへメロカリスをご 存じだと思いますが、それと同じ仲間です。



この草は草むしりでは必ず抜き去られる草で、言ってみ れば「名前なんかどうでもいい」と思われがちな草です。 でもちゃんとした名前があります。コニシキソウです。茎 をちぎると白い汁が出るのでご存じの方もおられると思い ます。葉の真ん中に小さな斑点があるのが特徴ですが、そ れがないものもよく生えています。それは別の種類でおそ らくアレチニシキソウでしょう。この仲間は区別がむずか しく、葉や茎、実などを虫めがねで調べないとはっきりし ません。でも、コニシキソウだけは斑点で分かりますね。 このごろ穂が細長く、緑色というより黄色に近い写真のよ うなエノコログサを見かけるようになったと感じません か?これはフシネキンエノコロという外来種です。風土記 の丘でも、安藤塚周辺などで群生が見られます。フシネと は「節根」のことで、茎の節から根を出すことからこんな 名前が付けられました。こんな草は伸びてくると邪魔者に 他なりませんから、すぐに根元から刈り取られてしまいま す。その前に観察してみてください。 松下

